

みんなの声

平成19年1月に、県土整備部に寄せられた県政提言への取り組み状況について掲載します。

みんなで創る”みんなの県土

これからも皆様の声を大切に、県土づくりを進めてまいります。

【空港】

opinion/idea/proposal/recommendation

花巻空港のフライトスケジュールを見たが利用しにくい。このようなスケジュールを容認しておくことは利用者の利便を置き去りにしたものであると思うので、改定の申し入れをしてはどうか。

また、花巻空港HPでリンクが不明の箇所がある。怠慢ではないか。

2007/1/9/電子メール

1. 関西国際空港便のダイヤについて

関西国際空港への就航は、従来から伊丹空港周辺の騒音問題が深刻化していたことから、その抑制のために国が打ち出した方針により、伊丹空港のジェット機発着枠が平成17年度から平成19年度までの3ヵ年で25便(50発着)削減される中で、花巻空港発着の大阪便1便についても平成18年4月から伊丹空港発着から関西空港発着となったところです。

県としては、大阪線は本県の産業、観光等における最重要路線であり、伊丹発着便の削減は容認し難いものでしたが、大阪線の座席供給数を維持するため受け入れざるを得なかったものです。なお、ご指摘のとおり伊丹空港に比べ関西空港は大阪市内からのアクセス時間を要することから、関西での滞在時間を拡大し利便性の向上を図るため、現在、航空会社に対し関西空港発着時間を遅らせるなどのダイヤ改善について要請しているところです。

2. 花巻空港HPの不具合について

ご指摘のありました花巻空港HPの不具合につい

ては、更新作業時の動作確認が不十分であったためにページへ移動できない状態となっており、ご指摘をいただき修正しました。ご不便をお掛けし申し訳ございませんでした。

今後、十分な動作等の点検を行い、利用者の皆様が利用しやすい情報提供に努めていきます。今後とも花巻空港をご利用いただき、お気づきの点については御提言をお寄せくださるようお願いいたします。

opinion/idea/proposal/recommendation

原油高に伴うコスト削減のため、全国規模で地方路線がリストラになる。花巻空港発着路線も休止・減便されるので、花巻空港自体廃止に追い込まれるかもしれないという危機感を持つ必要があるのではないかと。

県民・行政は、花巻空港存続に向けた取り組みを強化する必要があるのではないかと。

2006/1/10/電子メール

現在、新聞紙上で地方航空路線の再編について、様々な報道が行われているところですが、県は、今後のいわて花巻空港発着路線や利用者の利便性の維持・拡充が図られるよう日本航空との継続的な協議を行っているところです。

いわて花巻空港就航路線の維持・拡大による利便性の確保を図るためには、路線の特性や利用状況に応じた利用促進の取り組みが必要であると認識しており、行政と民間団体が一体となって岩手県空港利用促進協議会を組織して各種の利用促進事業を行っています。その中で継続的な需要の拡大、利用者の取り込みを図るため、各就航先の旅行代理店と連携した誘致活動、二次交通としての空港乗合タクシーの開業支援による企業利用の促進、県内及び就航先への広報活動などの事業を実施しているところであり、今後ともご意見を踏まえて一層のいわて花巻空港の利用促進活動に努めていきたいと考えています。

花巻空港は交通の便が悪いので、利用率が低いのだと思う。

新幹線で行ってもそこからの繋がりがなし、電車も乗り入れてないので不便を感じる。

便を減らさないでほしいので、何か改善をして乗客を増やしてほしい。

2007/1/16/電子メール

いわて花巻空港就航路線の維持・拡充を図るためには、路線の特性や利用状況に応じた利用促進の取り組みが必要であると認識しており、行政と民間団体が一体となって岩手県空港利用促進協議会を組織し、各種の利用促進事業を行っています。

その中で継続的な需要の拡大、利用者の取り込みを図るため、空港乗合タクシー（エアポートライナー）の開設支援を行うなど二次交通の充実に向けた活動も実施しています。また、新ターミナルの整備に併せ、駐車場の駐車可能台数やターミナルビルへの移動距離など自家用車利用時の利便性についても向上させていきたいと考えています。

花巻空港について、花巻→福岡便がなくなるかもしれないとのことですが、稼働率は低くても利用している人はいるので、便数を減らしても残してほしい。

2007/1/16/知事ホームページ

いわて花巻空港の就航路線を運航している航空会社では、現在、経営の再建を図る一環として運航路線の再編を行うこととしており、路線数、便数、運航ダイヤ等の見直しを進めています。この中で、花巻→福岡線についても収支が赤字であることなどから運航を休止したい旨の申入れを受けています。

県としては、岩手県と九州の拠点空港を結び、年間約3万人の方々が見に利用している路線であることから運航の休止は受け入れ難いとして、航空会社に対し撤回を要請しているところですが、航空会社側では、休止の申入れが経営再建という差し迫った事情に基づくものであり、利用者の利便性を低下

せないための対策についても検討の上、改めて県に説明したいとしています。

花巻空港新ターミナルビル着工の方針を固めたという新聞記事について、航空機も交通機関の一つであり、関心は建物ではなく利便性ではないか。

利用者は出発・到着時刻で交通機関を決めます。ビルだけ新しくしても、岩手の空の玄関口にはいい時間帯がないので、今のままの運行を続けて利用者は増えない。

花巻空港新ターミナルビル建設の凍結を決定してもらいたい。

2007/1/22/知事ホームページ

いわて花巻空港発着便のダイヤについては、路線によっては朝夕の発着便が少ないなどの問題を抱えており、県としても利便性の向上が不可欠であると認識しています。このため、航空会社に対して各路線毎に運航ダイヤ等の改善の要請を行っているところです。しかし、航空会社の運航機材の確保や整備体制上の理由から改善に至っていない路線も多く、今後も継続的に運航サービスの改善に向けた働き掛けを行うこととしています。

一方、近年、国際チャーター便の就航が増加傾向にあるものの、現在のターミナルビルでは、国内線と国際線の旅客の動線を分離した施設となっていないため混雑を招いていること、ビル内のバリアフリー対策、出入国や税関等手続きに当たってのセキュリティ対策が十分でないことなどからこれらの改善を図る必要が生じています。そこで、現在、空港東側に整備を進めている駐機場や駐車場と併せて新ターミナルビルの建設を計画しているところです。

県としては、いわて花巻空港の利便性の向上を図る必要から、運航サービスの改善に向けた航空会社への働き掛けと併せて、利用者が安全かつ快適な航空利用を促進するための空港機能の充実を図る必要があると認識しており、今後もこうした観点からの取り組みに努めていきたいと考えております。

【景観】

opinion/idea/proposal/recommendation

新聞に「らくがき問題」についての記事が掲載されていた。らくがきをする行為は許せない
ので、橋などの公共物へのらくがきを見つけたら、必ず警察へ被害届けを出し、犯人を捕まえ、
処罰をあたえるべきである。

2007/1/10/フリーダイヤル

公共物に対する落書きを放置することは、景観や環境の悪化を招き、落書き行為を助長させる懸念もあることから、県では管理者として順次消去等の対策を講じているところです。

今後、悪質と判断される落書きについては、県としても警察への被害届の提出を検討していきます。

全ての提言をご覧になりたい場合は、
県政への提言
広聴広報課ホームページをご覧ください。
<http://www.pref.iwate.jp/~koucho/index.html>

